



公益財団法人 愛知県文化振興事業団

2019年12月10日(火)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位



愛知から世界へ。

国際ツアーを控えた日本・香港・オーストラリアのダンス×映像作品

国際共同製作プロジェクト 『ON VIEW: Panorama』

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。

国際共同製作プロジェクト『ON VIEW: Panorama』の「インсталレーション展示」を2020年2月5日(水)から16日(日)に愛知芸術文化センターアートスペースX(地下2F)で、「ライブ・パフォーマンス」を7日(金)から9日(日)に当劇場小ホール(愛知芸術文化センター地下1F)で開催します。

本プロジェクトは、映像を通してダンサーと観客の境界線を探求しながら「ショートフィルム」、「インсталレーション展示」、「ライブ・パフォーマンス」の製作を行なう企画です。これまで、13年オーストラリア、15年香港でプロジェクトはスタートし、オーストラリア・ダンス・アワードを受賞するなどの評価を得てきました。指揮を執るのは、主要な国際映画祭で作品上映の実績を持つ振付家・映像作家のスー・ヒーリー(オーストラリア・シドニー)。ダンス・アーティストのポートレートにテーマに、名古屋学芸大学映像メディア学科と連携して、それぞれの作品製作に臨みます。

「ショートフィルム」は、ダンスハウス黄金4422を代表する浅井信好(名古屋市在住)など国際的に活躍するダンサー5名を名古屋市内の各所で撮影した映像作品です。本作は19年1月にインターネットを通じて発表しました。

「インсталレーション展示」は、これまで製作してきた各国のショートフィルムを再構築し、映像を投影した空間を作品とする展示です。動物とのコラボレーション、視線、浮かび上がるシルエットなど、ダンスを魅せる可能性にチャレンジし、大型のスクリーンに様々なダンサーの動きを投影します。

「ライブ・パフォーマンス」は、映像に投影されたダンサーと、舞台上のダンサーをミックスさせた表現の可能性を探る舞台公演です。日本、香港、オーストラリアのダンサー6名が出演し、国境を越えたパフォーマンスを披露します。

今後は、20年1月より城崎国際アートセンター(兵庫県)で製作を行ない、1月31日(金)に横浜赤レンガ倉庫1号館で世界初演を迎えた後、愛知で上演する予定です。また、製作された本プロジェクトは、20年の春に香港、秋にはオーストラリア・シドニーを国際ツアーします。

お問合せ

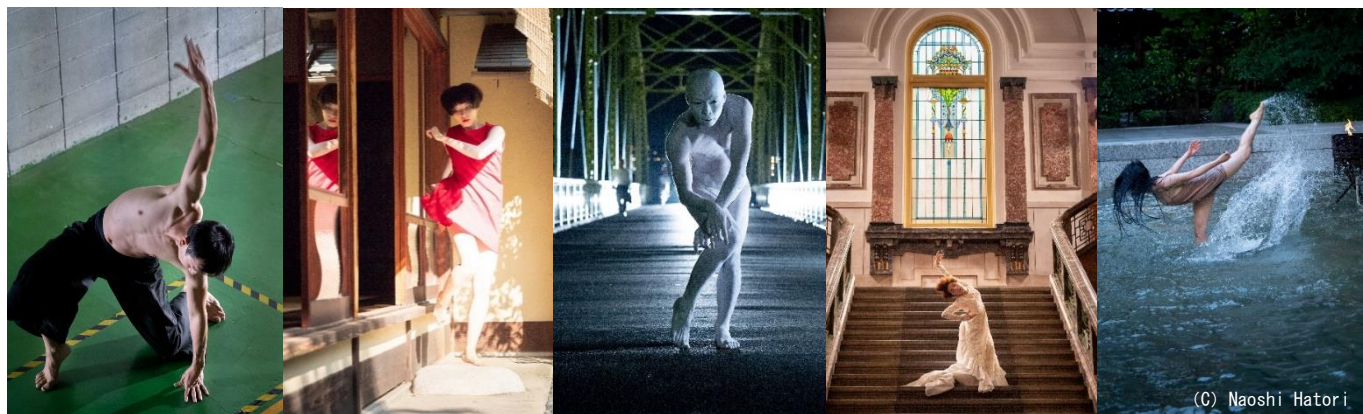
愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(唐津・加藤)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

E-mail: mkt@aaf.or.jp WEB: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

ショートフィルム(2018 年 9 月撮影、19 年 1 月発表)



(C) Naoshi Hatori

■名古屋市内の撮影場所

- ・河文
- ・向野橋
- ・名古屋市市政資料館
- ・リンナイ株式会社
- ・白鳥公園
- ・愛知県芸術劇場小ホール

■参加ダンサー

- ・白河直子(H・アール・カオス主宰)
 - ・小風健太(元 NDT(ネザーランド・ダンス・シアター)所属)
 - ・湯浅永麻(元 NDT(ネザーランド・ダンス・シアター)所属)
 - ・浅井信好(PIERRE MIROIR 元芸術監督(フランス・パリ))
 - ・ハラサオリ(ドイツ・ベルリンを拠点に活動するダンサー)
- ※2020 年のライブ・パフォーマンスには、湯浅、浅井が出演。

インスタレーション展示 デモンストレーションとトークイベント(2019 年 2 月・横浜)



Dance Lab@横浜赤レンガ倉庫1号館 「ダンスと映像の新たな地平～見ること、見られること」より

ライブ・パフォーマンス(2017 年・香港)



(C) Cheung Chi Wai

ショートフィルム

URL または QR コードからご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=0yqWu6Bng58&t=3s>



インスタレーション展示情報

展 示 名 | ON VIEW『Portraits of Dance Artists』 Sue Healey Video Installation Exhibition
日 時 | 2020年2月5(水)～16日(日)10:00～18:00
※10日(月)は、休館。7日(金)は20:00まで、16日(日)は15:30まで
会 場 | 愛知芸術文化センターアートスペース X(地下2F)
入場料金 | 無料

ライブ・パフォーマンス情報

公 演 名 | 国際共同製作プロジェクト『ON VIEW: Panorama』 Live Performance
日 時 | 2020年2月7日(金)19:00開演(18:30開場)
8日(土)、9日(日)各日14:00開演(13:30開場)
会 場 | 愛知県芸術劇場 小ホール
入場料金 | 全席自由 一般5,000円 U25 3,000円
※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)
※4歳以下のお子さまはご入場できません。託児サービスあり(有料・要予約)
○託児サービス 対象:満1歳以上の未就学児 料金:1名につき1,000円(税込)
申込締切:2020年2月3日(月)
お問合せ:株式会社ポピンズ(9:00～17:00) ☎052-541-2100
※車椅子でご来場の方、団体割引(10名以上)は劇場事務局(☎052-971-5609)まで事前にご連絡ください。
※公演の入場については、制限させていただくことがあります。
※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合があります。
発売日時 | 発売中
販売場所 | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event>
○愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)(10:00～19:00) ☎052-972-0430 ほか
※土日祝は18:00まで。月曜定休、祝休日の場合は翌平日。年末年始12/28-1/3休。
<購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。>
委嘱製作 | 愛知県芸術劇場、Freespace, West Kowloon Cultural District
共同製作 | 愛知県芸術劇場／横浜赤レンガ倉庫1号館、Performance Space in association with Sue Healey
協 力 | 城崎国際アートセンター、名古屋学芸大学映像メディア学科
助 成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
| 独立行政法人日本芸術文化振興会、NSW GOVERNMENT、豪日交流基金、
Australia Council for the Arts、オーストラリア大使館
協 賛 | 一般財団法人セガサミー文化芸術財団
主催・企画・製作 | 愛知県芸術劇場

スー・ヒーリーからのメッセージ

私は仕事で日本を訪れる度に、アートの考え方や創作過程を再構築できる良い機会に恵まれたと感じます。ダンス×映像の領域で作品をつくりはじめて20年が経ちます。この方法で作品を作り始める前に、振付家として刹那的な舞台（ダンス）に対して、フラストレーションを多々感じることもありましたが、舞台（ダンス）は、公演が行なわれるその場の一瞬限りです。それには独自の性質かつ美しさがありますが、公演が終わると創り手から離れてしまいます。

ある時、私は映像に出会いました。ダンスを映像と組み合わせることによって、私が以前から感じていたものを長く、そして新しい表現にできると感じました。身体をあらためて形づけることに気づくアイデアが生まれたのです。

ダンス×映像の作品において、私が大切にしていることは、アーティストとのコラボレーションです。

多くのダンスは、演劇のセリフや音楽の楽譜と違い、既存の何かがあるわけではありません。とても有機的です。創作の過程において、毎回、私からアーティストに質問や課題を投げかけます。彼ら/彼女らは、その問いかけを何処に導いてくれるか分かりませんが、イメージーションを働かせ、身体を通して表現します。最終的には彼ら/彼女らからそれぞれ違った応えが見えてくるため、とても興味深く感じます。

国際共同製作プロジェクト『ON VIEW』は、日本で創作する以前に、オーストラリアと香港で行ないました。プロジェクトに参加してきたダンサーの皆さんはとても献身的で、真面目に応えてくださいます。日本の場合は、バレエ・ダンサーや舞踏のダンサー、即興を中心としたパフォーマンスをするダンサーなど、それぞれが献身的に培ってきた身体がとても特徴的で面白いです。

また、映像だけでなく、舞台の上で作品を創ることも重要です。映像とダンスは共通点もあれば異なる性質もあります。撮影した映像は、ショート・フィルムやインスタレーション展示、舞台公演と、すべてに繋がります。各作品をそれぞれ単体で創るわけではありません。ダンスと映像が交差する点を模索し、全体で一つの作品に仕上げるのです。これは、舞台（ダンス）と映像の2つの分野の対話です。ダンスと映像の両方で、ダンサーが視覚的に新しい何かを寄与してくれることに期待します。この分野を使って、今後も新たな価値観を創り出すことに挑戦していきたいと考えています。

(2018年9月)



スー・ヒーリー Sue Healey（振付家、映画監督、アーティスト）

シドニーを拠点に活動。様々な形態、知覚、空間、コンテキストに向き合いダンスを創作、ギャラリーや劇場などで作品を発表している。近年の主作品はマルフィルムによるインスタレーション&パフォーマンス『ON VIEW』シリーズ。2019年「フィッシャー・ゴールド・アワード」、18年「第65回ブラック賞」、17年「デジタル・ポートレート・アワード、ナショナル・ポートレート・ギャラリー・オーストラリア 2017」を受賞。オーストラリア・ダンス・アワードのフィルム/ニューメディア/インディペンデントダンス部門。18年には『ON VIEW:HONG KONG』にて、香港ダンス・アワード(ベスト・ヴィジュアル・デザイン賞)を受賞。数多くの主要な国際映画祭で自身の作品が上映されている。